



MINI DISCLOSURE 2023

島根県農業協同組合
中間期ディスクロージャー誌2023

はじめに

皆さまには、日頃より島根県農業協同組合（愛称 JAしまね）をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

さて、このたび当JAでは半期（9月末）ディスクロージャーについて開示いたしますので、皆さまの当JAに対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当JAは、皆さまに信頼されお役に立てる島根県唯一の総合農業協同組合として、農業の振興並びに地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいる所存でございます。

今後とも、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年12月 島根県農業協同組合

PROFILE （令和5年9月30日現在）



- 設 立 年 月 日 平成27年3月1日
- 本 店 所 在 地 島根県松江市殿町19番地1
（代表：0852-67-7700）
- ホ ー ム ペ ー ジ <https://ja-shimane.jp/>
- 出 資 金 210億円
- 総 資 産 額 1兆1,507億円
- 単体自己資本比率 12.97%程度
- 組 合 員 数 214,909人
- 役 員 数 46人
- 職 員 数 2,934人

（注）本誌は、農業協同組合法施行規則第207条に基づいて作成した中間期ディスクロージャー誌です。

CONTENTS

1. 経営理念	1
2. 令和5年度上半期決算の概要	2
3. 社会的責任と地域貢献活動	4
4. 単体自己資本比率	8
5. 不良債権の状況	8
6. 有価証券等時価情報	9
7. 財務諸表	10
8. 主な事業所の配置図	11

1. 経営理念

基本理念

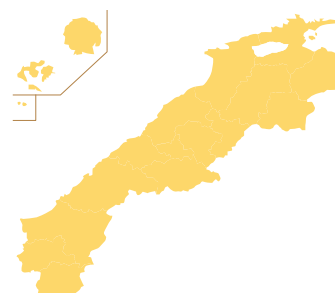
「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- 1. 地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- 1. 地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- 1. 水と緑と人を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

基本目標

「信頼、満足、熱意、みんな一番」

- し** …組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
- ま** …組合員・利用者の満足、一番をめざします
- ね** …仕事への熱意、一番をめざします



2. 令和5年度上半期決算の概要

農業関連事業

購買事業

生産購買品供給高は、前年度からの肥料価格高騰の影響もあり前年を上回り、農機部門についても、部品を含む修理整備事業が前年並みに推移したこともあり前年を上回った結果、63億15百万円となりました。

販売事業

販売品取扱高は、米穀部門において、令和4年産米の販売単価が令和3年産米に比べ上昇し前年を上回り、野菜・果実部門においては、主要品目であるぶどうは前年を下回り、アスパラガスは前年を大きく上回り、また、畜産部門では、県内市場はもとより、全国的に子牛価格の低迷が続いており、取り扱い額は前年・計画とも大きく落ち込んでいる一方で、肉用牛等の取り扱い額と、酪農部門において、乳価値上げに伴う取り扱い額の増加もあり、195億3百万円となりました。

生活事業

生活購買品供給高は、自動車部門はコロナ禍での部品の供給不足等による納車の遅れが落ち着きを取り戻しつつあり、石油部門では原油高による小売単価上昇により前年度を上回る実績となる等、全体で90億77百万円となりました。

信用事業

貯金残高は、新型コロナウイルスの影響緩和等の影響により、個人貯金が微減し、1兆130億83百万円となりました。

貸出金残高は、住宅ローンを中心に個人貸出金が増加し、2,861億34百万円となりました。

また、有価証券残高は、1,718億58百万円となりました。

共済事業

保有高は、長期共済保有高が2兆8,212億12百万円、年金共済保有高226億12百万円となりました。長期共済保有高においては、建物更生共済の満期や生命系共済の払込終了による影響もあり、減少傾向が続いています。

損益の状況

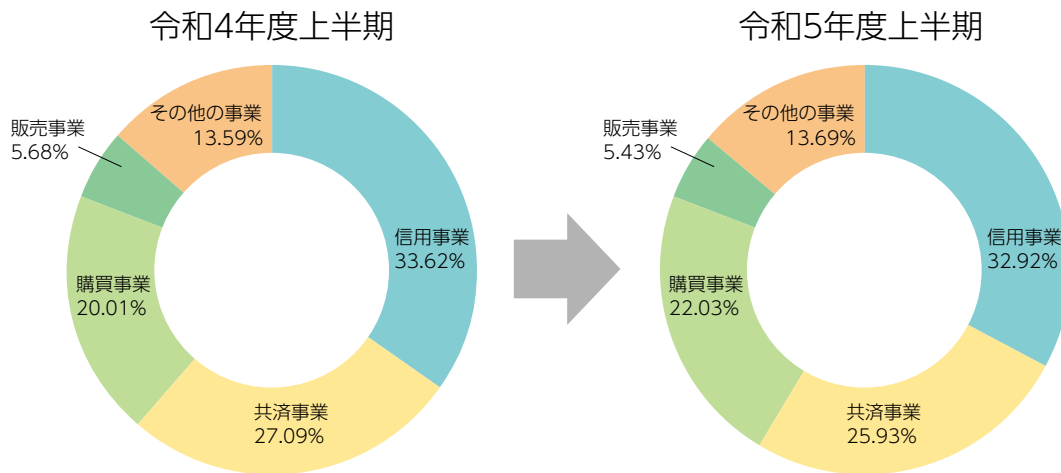
損益の状況は、事業総利益が117億69百万円、経常利益が12億57百万円となり、当期剰余金は9億50百万円となりました。

(単位：百万円)

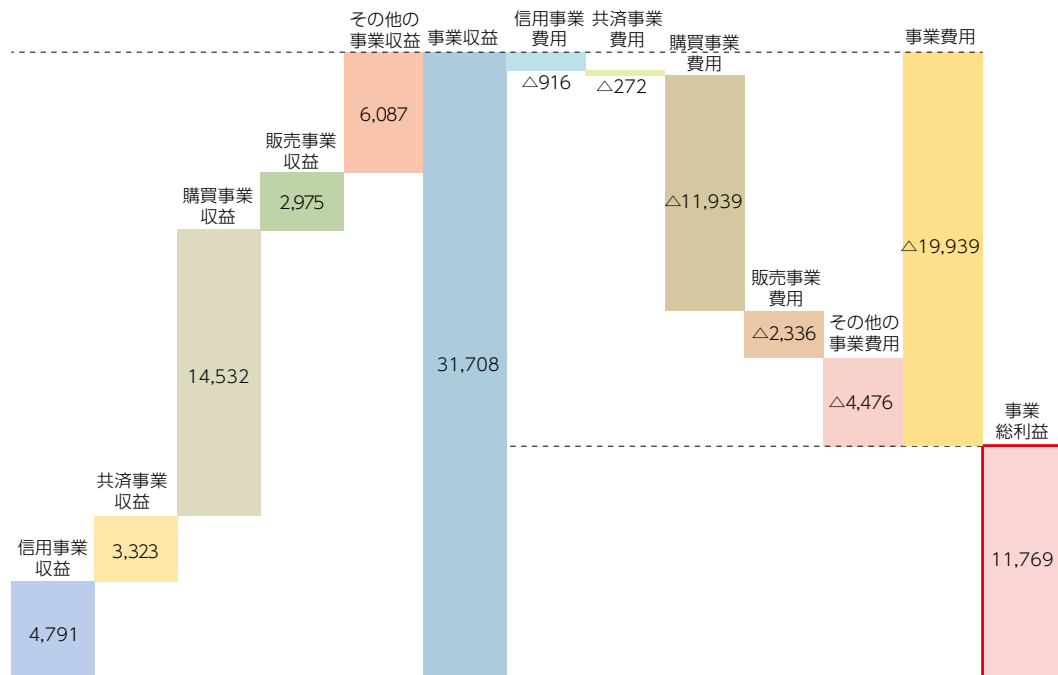
事業	項目	令和4年度上半期	令和5年度上半期	令和3年度	令和4年度
農業 関連	生産購買品供給高	6,295	6,315	10,818	14,106
	販売品販売・取扱高	19,339	19,503	38,252	38,042
生活	生活購買品供給高	9,075	9,077	17,739	18,912
信用	貯金（譲渡性貯金含む）	1,015,572	1,013,083	1,011,169	1,009,874
	貸出金	276,910	286,134	279,400	281,939
	有価証券	162,361	171,858	147,067	143,309
共済	長期共済保有高	2,959,849	2,821,212	3,045,745	2,905,921
	年金共済保有高	23,029	22,612	23,066	22,784
損益	事業総利益	12,015	11,769	24,924	23,820
	経常利益	1,128	1,257	1,901	1,605
	当期剰余金	770	950	675	822

(注) 販売品販売・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計額。

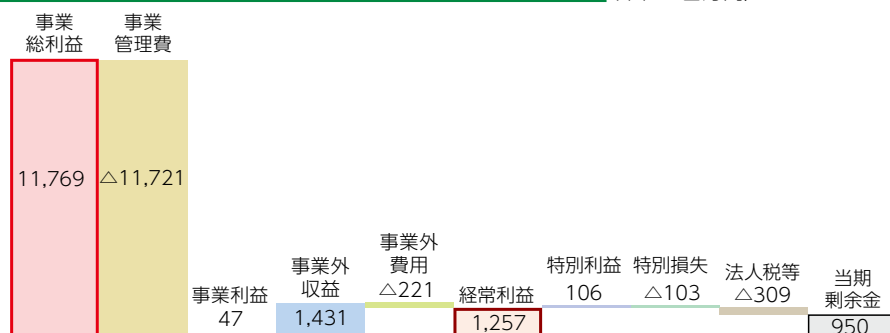
事業総利益に占める各事業の割合（上半期決算）



事業総利益の増減要因（令和5年度上半期決算）（単位：百万円）



当期剰余金の増減要因（令和5年度上半期決算）（単位：百万円）





3. 社会的責任と地域貢献活動

農業は、生産活動を通じて豊かな食生活の基礎を築くだけではなく、洪水や土壌浸食の防止、水資源のかん養など多面的な機能を通じて、みどり豊かな国土や環境の維持形成とその保全にも貢献しています。

当JAは、島根県を事業区域として、農業者を中心に地域住民の方々が組合員となり、相互扶助を共通の理念に運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する農業協同組合です。

当JAは農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、1県1JAとしての「協同の力」（人材・設備・資金）の結集と盤石な財務基盤を活かして、地域社会の一員として地域経済の継続的発展につとめています。

(1) 地域貢献の全般に関する事項

<地域密着型金融への取り組み>



①新型コロナウイルス感染症への対策事業

JAしまねでは、新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰の影響を受けている農業者の皆さまからの相談窓口を設置しております。

令和4年6月から島根県との連携により、「新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等対策資金」の取扱いを開始し、農業者の支援に取り組んでいます。

新規実行は、令和5年9月末時点で72件、8億28百万円のご利用をいただいております。

また、コロナ禍により消費が減少している県産品の消費拡大支援策として、「しまね和牛」「盟友特産品」をプレゼントする定期貯金キャンペーンを実施しました。

②「認定農業者支援資金」の取扱い

平成28年4月より、認定農業者様の農業経営に必要な設備資金や運転資金等幅広い資金需要に迅速かつ簡便にお応えできる「認定農業者支援資金」を取扱いしています。

令和5年9月末現在で1,212件、36億26百万円のご利用をいただいております。

引き続き、認定農業者様の円滑な事業運営と、農業生産向上への支援を行ってまいります。

③「JAバンク食農教育応援事業」の実施

食農教育を通じて子どもへの農業に対する理解を深め、農業のファン層の拡大から地域の発展に貢献することを目的として、県内小学校と養護学校等に食農・環境保全・金融経済教育にかかる教材本を8,059冊無償贈呈しました。

④子育て応援事業

JAしまねは、島根県が展開する「しまね子育て応援事業」に賛同し、協賛店として様々な商品において子育て世帯を応援しています。

住宅ローン・マイカーローン・教育ローンでは、「子育て応援宣言」として、子育て世帯の方に対する金利の優遇を行っています。

貯金商品でも18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乗せ定期積金をご用意しています。

⑤ ライフプラン・コンサルティング（相談業務）の取り組み

組合員・地域の皆さまの「年金」「資産形成」「相続」にかかるご相談にお応えするため、「年金」は支店に、「資産形成」は統括支店に、「相続」は県域3拠点（松江市、出雲市、浜田市）に専門の担当者を配置しています。

人生100年時代といわれ私たちを取り巻く環境が変化しているなか、様々なニーズへの個別相談及び相談会やセミナーの定期的開催により、おひとりおひとりのライフプランに適した情報の提供を行っています。



(2) 地域からの資金調達の状況

(単位：千円)

種 類		令和5年3月末	令和5年9月末
預り先	組 合 員	848,184,575	845,622,226
	うち同一世帯に属する者	164,299,544	161,988,915
	うち非営利法人	109,290,957	112,982,026
	うち地方公共団体	70,507,095	74,712,696
	組合員以外	161,690,269	167,460,588
合 計		1,009,874,845	1,013,082,814

(3) 地域への資金供給の状況

(単位：千円)

種 類		令和5年3月末	令和5年9月末
貸出金貸出先	組 合 員	211,381,651	216,630,796
	うち同一世帯に属する者の 貯金担保貸付	135,031	131,451
	うち非営利法人（地方公共団 体を除く）の貯金担保貸付	30,930	76,490
	組合員以外	70,558,256	69,503,158
	地方公共団体	43,199,670	41,216,318
	地方公社等	1,445,156	599,323
	金融機関	10,868,000	11,668,000
	その他	15,045,430	16,019,516
	合計	281,939,908	286,133,954

(4) 文化的・社会的貢献に関する事項

<地域社会に貢献する活動>



①交通安全運動

交通安全意識の高揚と事故防止に役立てていただく為、夜光反射テープと反射タスキ及びカーブミラーを贈呈しました。また、スタントマンによる交通事故の実演を通して安全を考える自転車の交通安全教室を開催します。

②子育て支援事業

島根県に在住の妊娠中の方を対象として、「JAしまねこども倶楽部」を展開し、共済事業を通じた子育て支援を継続的に取り組んでいます。

③スポーツを通じての健全育成

子どもたちのスポーツを通じての健やかな成長とふれあいと友情の輪を深めることを目的に、学童野球大会などを主催しています。

④伝統行事・地域イベントへの参加

例年、伝統行事である花田植えなどの地域の祭りや地域のイベントに参加・参画し地域との交流を促進しています。

⑤環境保全運動

「JAしまね・JAしまね女性部統一行動」の一つとして、県内全域で「おもてなしプロジェクト」に取り組み、みどりのカーテンや支店周辺の美化活動による環境保全に取り組んでいます。

⑥地域貢献・地域活性化支援

地域貢献・地域活性化に取り組むグループや団体の活動を支援する事業に取り組んでいます。



<くらしの活動関係>



①食農教育

親子クッキングスクール、あぐりキッズスクール、学童農園、出前授業等の活動を通じて「食農教育」を行っています。年間を通じたカリキュラムを立て、体験を通して食や農の大切さを伝えています。

②生きがいきづくり講座

いつまでも輝く女性であるための自分磨きや、学びの場を通じての仲間づくりを目的として、概ね40代までの女性の方を対象にJA女子大学を開講しています。

講座は、毎月1回を目安に1年コースまたは2年コースでカリキュラムを組んでおり、文化教養や農業体験、料理教室等幅広い内容となっています。

また、シニア大学なども開講し、幅広い年代のいきがいきづくりに取り組んでいます。

③健康増進

JA島根厚生連と連携し、健康診断や各種健診を通じて、組合員の健康管理に努めています。また、介護予防教室、助けあい組織によるミニデイサービス等を開催し、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



4. 単体自己資本比率

令和5年3月末	令和5年9月末（推計値）
13.30%	12.97%程度

（注）令和5年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 令和5年9月末の単体自己資本比率（推計値）は、令和5年3月末のオペレーショナルリスク相当額及び令和5年9月末の自己資本額・信用リスクアセット額（推計値）に基づき算出しています。
2. 令和5年9月末の信用リスクアセット額（推計値）の算出にあたって、一部の項目については令和5年3月末の額（データ）を使用しています。

5. 不良債権の状況

（単位：千円）

債権区分	令和5年3月末	令和5年9月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	654,214	667,344	13,129
危険債権	2,073,227	2,114,837	41,609
要管理債権	285,532	291,263	5,730
小 計	3,012,975	3,073,444	60,469
正常債権	279,965,729	285,584,589	5,618,859
合 計	282,978,704	288,658,034	5,679,329

※令和5年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 各債権区分額は、令和5年3月末時点の債権額を基準として、令和5年9月末時点の残高に修正しています。

6. 有価証券等時価情報

有価証券

(単位：千円)

保有区分	令和5年3月末			令和5年9月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	8,200,577	8,067,330	△ 133,247	8,200,577	8,081,705	△ 118,872
その他	130,925,832	135,108,301	4,182,468	159,404,658	163,657,682	4,253,024
合 計	139,126,409	143,175,631	4,049,221	167,605,235	171,739,387	4,134,152

(注) 1. 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2. 帳簿価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他目的有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。

金銭の信託

(単位：千円)

区 分	令和5年3月末			令和5年9月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
運用目的	495,746	495,746	—	495,746	495,309	△ 436
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	3,084,834	3,010,525	△ 74,309	2,084,834	2,007,009	△ 77,824
合 計	3,580,581	3,506,271	△ 74,309	2,580,581	2,502,319	△ 78,261

(注) 1. 9月末の金銭の信託の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2. 帳簿価額については、運用目的金銭の信託については取得価額を、満期保有目的金銭の信託またはその他目的金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

7. 財務諸表

①貸借対照表(要約)

(単位：千円)

科 目	令和4年度 (令和5年3月31日現在)	令和5年度上半期 (令和5年9月30日現在)
(資産の部)		
1 信用事業資産	991,150,167	1,028,142,614
2 共済事業資産	5,596	7,624
3 経済事業資産	15,272,308	14,772,719
4 雑 産 資	5,872,794	5,513,599
5 固 定 資 産	33,643,447	33,355,565
6 外 部 出 資	68,043,603	68,068,355
7 繰延税金資産	905,219	885,703
資産の部合計	1,114,893,136	1,150,746,181

科 目	令和4年度 (令和5年3月31日現在)	令和5年度上半期 (令和5年9月30日現在)
(負債の部)		
1 信用事業負債	1,018,853,447	1,054,256,606
2 共済事業負債	4,527,654	5,387,746
3 経済事業負債	5,607,976	4,651,848
4 雑 負 債	3,048,630	2,658,171
5 諸 引 当 金	6,659,274	6,900,584
負債の部合計	1,038,696,983	1,073,854,956
(純資産の部)		
1 組 合 員 資 本	73,244,865	73,892,412
2 評価・換算差額等	2,951,288	2,998,813
純資産の部合計	76,196,153	76,891,225
負債及び純資産の部合計	1,114,893,136	1,150,746,181

②損益計算書(要約)

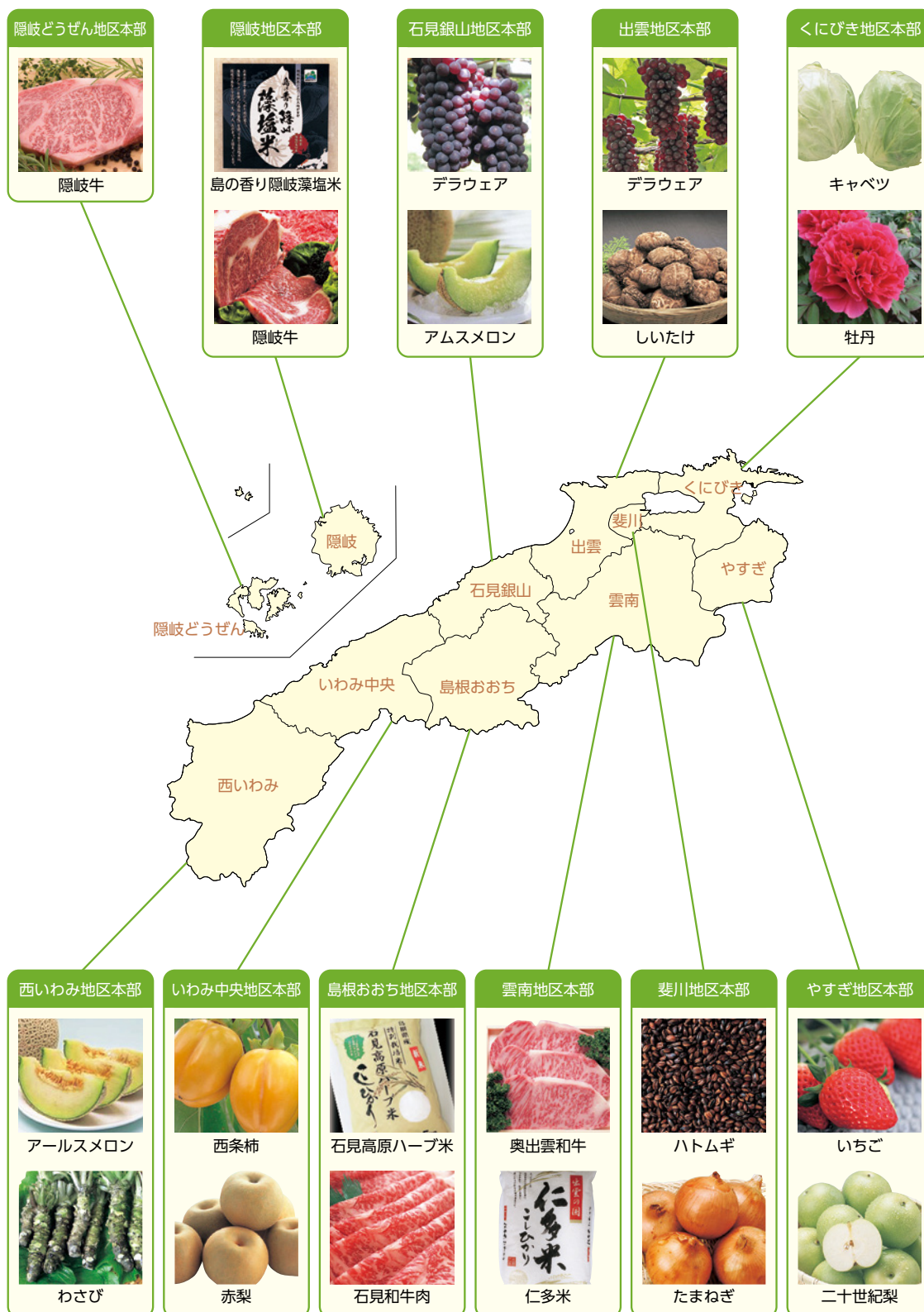
(単位：千円)

科 目	令和4年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	令和5年度上半期 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
1 事業総利益	23,820,050	11,769,012
(1) 信用事業収益	9,474,992	4,791,272
(2) 信用事業費用	1,698,291	916,750
信用事業総利益	7,776,700	3,874,521
(3) 共済事業収益	6,760,451	3,323,144
(4) 共済事業費用	585,992	271,536
共済事業総利益	6,174,458	3,051,608
(5) 購買事業収益	31,656,649	14,531,639
(6) 購買事業費用	26,256,065	11,938,959
購買事業総利益	5,400,583	2,592,679
(7) 販売事業収益	4,330,972	2,975,149
(8) 販売事業費用	2,945,382	2,336,383
販売事業総利益	1,385,590	638,765
保管事業総利益	190,587	59,864
加工事業総利益	433,314	123,458
利用事業総利益	1,012,785	620,163
葬祭事業総利益	1,390,256	644,946
宅地等供給事業総利益	36,724	12,584
農業経営事業総利益	△ 31,065	14,438
その他事業総利益	244,253	120,645
指導事業収支差額	△ 194,139	15,337

科 目	令和4年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	令和5年度上半期 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
2 事業管理費	23,584,802	11,721,746
事業利益	235,248	47,265
3 事業外収益	1,856,063	1,431,934
4 事業外費用	485,805	221,362
経常利益	1,605,505	1,257,838
5 特別利益	1,024,855	106,107
6 特別損失	1,441,475	103,532
税引前当期利益	1,188,885	1,260,412
7 法人税、住民税 及び事業税	253,248	309,718
8 法人税等 調整額	113,339	—
法人税等合計	366,588	309,718
当期剰余金	822,296	950,694
当期首繰越剰余金	590,041	569,512
経営基盤強化 積立金取崩額	449,507	—
税効果積立金 取崩額	114,260	—
当期末処分剰余金	1,976,105	1,520,206

8. 主な事業所の配置図

〈県全体〉 地区本部の事業エリア及び主な特産品



〈東部〉事業所配置図（令和5年11月30日現在）

-  本部・地区本部
-  支店・出張所・店
-  営農・経済センター
-  生活店舗（業務委託店舗を含む）・グリーンセンター・農産物直売所・ファミリーマート
-  給油所（業務委託店舗を含む）
-  葬祭施設（業務委託店舗を含む）





MINI DISCLOSURE 2023





〈西部・隠岐〉事業所配置図 (令和5年11月30日現在)

-  本部・地区本部
-  支店・出張所・店
-  営農・経済センター
-  生活店舗 (業務委託店舗を含む)・グリーンセンター・農産物直売所・ファミリーマート
-  給油所 (業務委託店舗を含む)
-  葬祭施設 (業務委託店舗を含む)



SDGs目標達成に向けた取り組み

- ・JAしまねが掲げる「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」という基本理念は、SDGsが掲げる基本理念である「誰一人取り残さない」と共通するものです。
- ・JAしまねでは、組合員と地域のくらしを守ることを目的に、自己改革を通じてSDGsの目標達成に貢献しており、JAしまねの行う各事業はSDGsの目標と親和性が高く、引き続き農業協同組合として各事業を展開し、SDGsの目標達成に向けて取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

【外務省ホームページより】



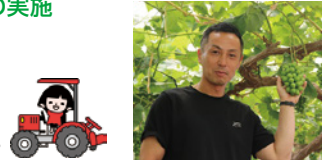
持続可能な食料の生産と 農業の振興



JAしまねでは、持続可能な農業を実現するため、様々な担い手に対して積極的な支援、活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指しています。

- 新規就農者を含む地域の担い手の育成
- 農業振興支援事業の実施
- スマート農業の推進
- 島根県農畜産物の安全安心の取り組み

© よい食P



安心して暮らせる持続可能で 豊かな地域社会づくり



JAしまねでは、豊かなくらしやすい地域づくりのための、ふれあい活動として「くらしの活動」に取り組み、活動を通じ、「食と農」を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指しています。

- 食と農に関する活動
- 地域貢献活動
- 支店ふれあい活動



農業生産における 環境負荷の軽減の取り組み



JAしまねでは、自然の恩恵を地域に根ざすエネルギーとして、安全なクリーンなエネルギーの活用・確保に向けた取り組みを行っています。

- 小水力発電
- 太陽光発電等



地域社会への貢献



JAバンク、JA共済は組合員・利用者に安心と満足を提供するため、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

- 地域社会への安定的な金融サービスの展開
- 共済仕組みによる保障提供サービスの展開



持続可能な フードシステムの構築



JAしまねでは、地域で生産された新鮮な農畜産物が、地域内で直接販売され、最後まで安全に消費されています。また、6次産業化により生産振興や生産者手取り増大につながるよう、地場産品による特産品開発・商品開発も進めています。

- 地産地消活動
- 直売所・ファーマーズマーケット
- 加工事業
- 販売促進活動



多様な関係者・仲間との 連携・参画



- JAしまね支店ふれあい活動・JA女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実践
- JAしまね、JAしまね女性部、島根県農協青年組織協議会が協力し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により困窮している大学生へ米を支援
- 地域の方や子供たちに向けての農業体験、食農教育活動





島根県農業協同組合

〒690-0887 松江市殿町19-1 (島根JAビル)